

## 今月号のトピックス

- ・「猛特訓」について
- ・夏の受験生の勉強時間
- ・道を開くには覚悟が必要
- ・人の何倍も努力する。

## 夏の受験生の勉強時間

8月の授業日は1日10時間の勉強を！

中学3年生は8月の授業日は以下の時間で塾に来て勉強してください。

- ◎学習時間...午前10:00~午後10:00の中で10時間
- ◎休憩時間... (昼1時間、夜1時間)  
昼休憩は13:10~14:10で合わせてください。

※演習日や猛特訓は予定表に書いてある時間で行います。

## 猛特訓について

### <ルール>

- ・自習室、テスト部屋での私語は一切禁止。自習室での質問はOK。
- ・トイレはいつでも認めます。
- ・今年は休憩時間を全員合わせてとります。昼休憩も1時間(12:00~13:00)とります。(昼休憩は外に出てもOK)
- ・テスト対策期間同様、55分+休憩5分を1セットで行います。
- ・課題はすべてテスト形式です。テストで合格して一つの課題が終了となります。
- ・すべての課題が終了した生徒は、その時点で帰宅して良いこととします。ちなみに昨年は一人もすべての課題を終わらせることができませんでした。

B教室 自習室	C教室 自習室
A教室 テスト室	D教室 休憩室

自習室で勉強し、テストはA教室で受ける。休憩時間はD教室で休憩してもOK。この日は休憩室は1日中休憩室として開放します。

## 道を開くには覚悟が必要

嫌なことは誰にでもあります。嫌なことを考えると一歩が出ません。それはいつも皆さんの前で偉そうに話をしている私も同じです。

例えば、長い間通ってもらっていた生徒さんが塾を辞めるとき、皆さんの成績を上げることができなかつたとき、受験生が志望校に落ちてしまったとき、そういう時は心が後ろ向きになります。

「何がいけなかつたのか...」「どうすればいいのか...」後ろ向きの心を持っていると、何回も同じことを考えてしまって、気分がどんどん落ちていきます。何か乗り越えられない壁があるように思えて次の行動がなかなかとれなくなります。しまいには、やらなければいけないことを忘れてしまったり、他人と話すときにもそれが表情に出てしまい、周りも暗くさせてしまったりします。(私の場合は、樋口が注意してくれるので助かるのですが...)

嫌なことがあったときは、それを正しく捉えて前向きな行動に繋げなければいけません。私の場合は、生徒さんが辞めるということは、山口学習塾の足りない所が分かるいい機会でもあるのです。それははっきりさせて、それを改善していく行動にすぐに移らなければいけない。いつまでもウジウジしてはいけません。次の行動に移るには「覚悟」が必要です。強い気持ちが必要です。これが正しいんだ、自分にはこれしかないんだ。そういう覚悟が勇気を生み、自分の道を切り開く推進力になるのだと思います。

中学3年生たち。夏休みを前に、山口学習塾の毎日の受験勉強、夏期講習の10時間学習と大きな壁を感じているかもしれません。「こんなのできないよ...」と後ろ向きの気持ちに支配されているかもしれません。前に進むには覚悟を決めるしかありません。自分はこの夏は勉強漬けになって誰よりも成績を伸ばすんだ。周りが驚くような成績UPを実現させて志望校に到達するんだ。休んだり、遊んだり、そういうことはこの夏は捨てた、周りが何をしようとも自分は勉強しかない。そういう覚悟を持ってください。そういう覚悟が皆さんのエネルギーになり、素直に知識を吸収していく頭を作り出すはずで。

皆さんはこの夏、偏差値5UPを学年全体で達成しなければいけません。一人一人が覚悟をもって、偏差値5UPの道を切り開いてくれることを期待しています。私が皆さんにかける言葉は「頑張ろうよ。」なんて生ぬるい言葉ではありません。「やるからには勝て！」強い気持ちでこの夏、攻め続けてくれることを期待しています。

## 人の何倍も努力する

最近、小学生英語教室の体験授業にきてくれた生徒を見ていて、改めて小学生にとって英単語を暗記するということは、我々大人が思っている以上に大変な学習だということを実感しました。英語教室では数字の英単語の暗記をするのですが、one、two、three、four、fiveのたった5つの英単語を覚えるのに苦戦する子がほとんどです。大人からすると短くて簡単な単語だからすぐに覚えられるだろうと思ってしまうがちですが、暗記の時間を10分とっても20分とってもせいぜい2個か3個くらい覚えるのがやっとな子がほとんどです。

小学生英語教室に通ってくれている生徒や、去年英語教室に通っていた現在中1の生徒は、英単語を当たり前のように暗記することができるようになっていますが、最初はみんな、なかなか覚えられず苦労していたのを思い出します。できるようになってしまふと忘れてしまふがちですが最初はみんなできなかったのです。できなくてもあきらめずに何度も何度も練習して英単語が覚えられるようになっていったのです。私は苦労せずにできるようになったことよりも、たくさん苦労し人の2倍3倍努力してできるようになったことのほうが価値があると思います。小学生が中学生になり勉強が難しくなっていく中で、わからないこと、できないこと、苦手なことが必ずでてきます。そのとき、人の2倍3倍努力してできるようになった経験があれば、人の何倍も努力して最初はできなかったことでもできるようになっていくはずで。

もちろん小学生のうちから英単語をたくさん覚えておけば中学生になったときに有利になるのは間違いありません。しかし、それ以上に私が英単語の暗記を通して生徒に身に付けて欲しいことは、わからないこと、できないこと、苦手なことがでてきたときにあきらめずに、人の何倍も努力するということです。あきらめずに人の何倍も努力することができれば、必ずどんな壁も乗り越えていけるはずで。

(樋口)